

稚加榮、堂々の二連覇達成!

明太子通信

VOL.002

KOO-KI™ presents

発行元：空気株式会社
福岡市早良区野芥
4-11-18



審査項目も多岐に渡る



本年度エントリーの各商品



投票結果を前に、各自の意見を活発に述べ合う審査員たち。表情は真剣そのもの。

値段と味は関係なし?

師走を翌日に控えた某日、福岡を拠点に活動している空気株式会社（KOO-KI）では、年末恒例行事となりつつある、第二回明太子食べ比べ選手権が開催された。本年度の審査員には、某プロジェクトチームからの参加ができないというアクシデ

ントには見舞われたが、総勢十五名の審査員による厳正な審査が執り行われた。プリン体の摂り過ぎが危惧される年齢層の審査員もおり、審査終了後には「もう少しばらけは明太子を見たくない」との声も聞かれたため、すでに第三回の開催が危ぶまれている。

審査委員長の話「インド方式で行う審査なので、この結果は純粋に味での判定となっている中、稚加榮が二連覇という結果は非常に意義があること。『福岡といえば明太子』と言われることが多い中、これだけの種類の明太子を一度に食べ比べる機会も年に一度のこの選手権しかない中で、審査員たちの怖るもの、審査員への恐怖を克服できる体作りも怠ってはいけないと感じた。審査員各位には自覚を持って臨んでほしい。今回は参加できなかった審査員諸君の次回参加を期待したい。」

ランキング発表!

1位



稚加榮

「深みがある」「王道」「おいしい」「うまい」など絶賛コメントが続々と出た貫禄の二連覇。さすが料亭の味。

2位



福さ屋

突出した強みはないものの、安定した旨みで手堅く票を稼いだ。ブランド力のみならず、味もお墨付き。

3位



あごおとし

好き嫌いが分かれる味。バランスが良いとする審査員もいる一方、合わないという審査員もいた。

4位



西昆(柚子)

柚子風味ということで一種の飛び道具的なエントリー。見た目のインパクトはピカー。ねっとり。

5位



須弥山

高級明太子の代名詞。外装の高級感と誰にでも合う食べやすさで堂々の五位に入賞。しかし高い。

以下の結果

六位：椒房庵、七位：あき乃家(こだわりのワイン仕込み)、八位：ふく富、九位：吉富、十位：やまや(去年二位のやまや、今年は後退)、十一位：博多屋、十二位：うち川、十三位：かねふく。

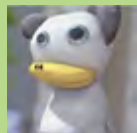
※各エントリーとも、一番安価な商品(家庭用切りなど)を審査対象としています。

広告

カッチョいい映像なら、迷わず KOO-KI へ!!!

お試しキャンペーン実施中

7千円で広がって、今では日本中で使われているのだそう。お問い合わせ・お申し込みは 092(874)2020



※昨年の結果
一位・稚加榮、二位・やまや、三位・ふくやブラックペッパー
※過去の明太子リスト
ふくや、ふくや、(フラックペッパー)、山笠、西昆、まつ本、しまもと、磯貝、鳴海屋、稚加榮、やまや、福太郎、ひろしやう、須弥山、福さ屋、かねふく、あごおとし、ふく富、吉富、椒房庵、博多屋、あき乃家、うち川、西昆(柚子)